

日本災害医学会 第2回徳島 BHELP 標準コース 受講者募集

傍観者から支援者へ！「避難所の支援」と「災害関連死の予防」について多職種で考えてみませんか？

BHELP (Basic Health Emergency Life Support for the Public) 標準コースは、

発災直後から被災者の生命・健康の維持に配慮した避難所の体制構築と運営を実施することで災害関連死や健康被害の最小化に寄与していくことを目的とした日本災害医学会の教育コースです。自治体・医療機関・専門職団体が研修の一環として開催しているほか、近年では災害支援に関わる団体の研修としても活用されています。2025年9月末時点で192回開催し、5948人に参加いただいています。昨年に引き続いて、徳島県で2回目となるコースを開催します。是非ご参加ください。

日時：2026年11月3日（火・祝）10時00分～17時30分

会場：月見ヶ丘海浜公園 研修室（徳島県板野郡松茂町豊岡山ノ手42）

受講資格：保健・医療・福祉分野に関連する専門職（専門職の受験資格が取得可能な教育機関の学生を含む）
防災業務に従事している行政職員（消防・自衛隊関係者等を含む）

募集人数：48人

申込締切：2026年10月25日（日）

受講料：6,000円（会場受付で集金します）

コースコーディネーター：西村 直哉（社会医療法人芳越会 ホウエツ病院 理学療法士）



【講義内容（一部）】

我が国の災害医療体制の概要
一般避難所と福祉避難所の概要
避難所の体制構築と運営上の留意点
要配慮者対応の共通言語「CSCAHHH」
避難所で生じやすい健康問題と予防対策

【演習内容（一部）】

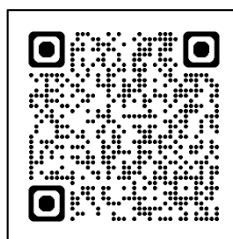
緊急避難場所と一般避難所での CSCA
傷病者の START 法トリアージ
要配慮者のヘルスケアトリアージ
迅速（ラピッド）アセスメントを用いた情報収集
避難所のレイアウト

【申込方法】

下記 URL または右記 QR コードからお申し込みください。

[災害医療イベントポータルサイト D-PORT](https://forms.gle/YJTmychUKtiKBmFJA)

<https://forms.gle/YJTmychUKtiKBmFJA>



知第26-81号

【お問い合わせ】

コース開催1週間前までに受講採否の連絡がない場合やキャンセルする場合について

➡ コースコーディネーター 西村 直哉：tokushima.bhelp@outlook.jp

コースの申し込みやその他について

➡ BHELP 運営委員会 恩部 陽弥：jadm_bhelp@yahoo.co.jp

※開催施設や学会事務局ではお問い合わせに対応しておりませんのでご注意ください